



絵・題字 / 杉浦範茂



怪じゅうが町にやってきました

東日本大震災復興支援公演

2016年5月23日(月)

開場午後6時

開演 6時30分

会場 / イズミティ 21

(仙台市泉文化創造センター大ホール)

原作 / R・ストックトン
脚色 / 星野毅
演出 / 竹内とよ子
美術 / 佐久間弥生
音楽 / 宮崎尚志



助成：文化庁文化芸術振興費 文化庁
補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

共催：みやぎ子どもの文化を支援する会・薺の会
協力：NPO法人せんだい杜の子ども劇場・宮城子どもを守る会

後援：仙台市教育委員会
「河北新報社」

かい まち 怪じゅうが町にやてきた

原作/R・ストックトン 脚色/星野 毅 演出/竹内とよ子 美術/佐久間弥生 音楽/宮崎尚志
照明/鷺崎淳一郎 音響効果/宮沢 緑 振付/山形真紀子 舞台監督/栗原弘昌 制作/興梠直人

ある日突然、怪じゅうが町に舞い降りた。名前はグリフィン。町は恐ろしさのあまり大騒ぎ、町長は怪じゅうと話をさせるために若い神父を差し出した。ところがグリフィンは誠実な神父をすっかり気に入り、やがては町の子ども達とも仲良くなった。そして神父、子ども達と一緒に困った人を助けたり、手伝ったりするグリフィンは町の人気者に。

ところが町に変なうわさが広まった。「怪じゅうは年に一度食事をする」、「食べ物は子ども達！」さあ、町は再び大騒ぎ・・・。



「戦後、親たちが忙しく貧しい時代に育った世代として、子どもたちを取り巻く環境の変化を強く感じます。特に、子どもたちが巻き込まれてしまう事件や陰湿ないじめに、胸が痛みます。子どもたちの遊びの中で培う命の大切さや思いやり、弾ける楽しさ、暮らしの中でのたくましさや創造力なども育ちにくくなっているのではないのでしょうか。大人の世界にも子どもの世界にもはびこる“弱い者いじめ”は何かならないのか。そんな時に、プークさんが「怪じゅうが町にやてきた」の舞台を持ってきてくれることになりました。物語の中で、大人たちとは一線を画した子どもたちの純粋な思いと行動は屹然としています。もしかしたら「怪じゅう」を通して、バーチャル文化の中の子どもたちに“大いなるもの”の存在を気づいてもらえるかもしれません。生の舞台を通して、親子や祖父母と孫など家庭での語らいが増えるよう願っています。」

繭の会 穂積正一

会場/ **イズミティ 21**
(仙台市泉文化創造センター・大ホール)

一般券/ **2000** 円
(3歳以上均一)

親子券/ **3000** 円
(大人1名子ども1名)

開場/ **18:00**

開演/ **18:30**

終演/ **20:15**

●団体観劇受付中●

※団体の場合、**13:30**開演可能。

要お問い合わせ0229-67-2407『繭の会』

《チケット取り扱い先》—2016年3月10日(木)より開始—

- ・絵本と木のおもちゃ『横田や』青葉区北山 TEL 022-273-3788(10:00~19:00)水曜定休
- ・子どものほんのみせ『ボラン』青葉区中央 TEL 022-265-1936(10:00~18:00)日曜・祝日定休
- ・book cafe『火星の庭』青葉区本町 TEL 022-716-5335, <http://www.kaseinoniwa.com>(11:00~19:00)火・水曜定休
- ・喫茶『ホルン』青葉区立町 TEL 022-711-5520(11:00~19:00)月曜定休、定禅寺通りの 甘栗屋さんの2F
- ・『NPO法人せんだい杜の子ども劇場』泉区泉中央 TEL/FAX 022-375-3548, Mail:morinokodomo@s8.dion.ne.jp

＜お問合せ先＞

仙台準備会事務局 『繭の会』(穂積)加美町 TEL/FAX **0229-67-2407**

主催 人形劇団プーク ☎03-3370-3371

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3

URL <http://www.puk.jp/>